

東京学芸大学附属世田谷中学校公開研究会 公開授業 第1学年 技術・家庭(家庭分野)学習指導案		授業者	関野 かなえ		
		授業学級	1年C組(男子18名, 女子17名)		
題材名	環境に配慮した生活を考える — 持続可能な社会の構築に向けて、先人の知恵から学ぶ				
概要	<p>持続可能な社会の構築に向けて、大量生産・大量消費・大量廃棄を見直し、私たち一人一人が地球環境について考え、環境に配慮した生活を送ることが求められている。</p> <p>日本には元来、気候に合った暮らし方の工夫や物を大切にする文化がある。そこで、学校図書館の書籍から先人の知恵を学び、今を生きる私たちの生活に生かせないかと考えた。</p> <p>調べたことをもとに互いに考える授業を通して、持続可能な社会を構築するために、先人の知恵からどのような生活文化を継承し、今、何を創造していくべきか考えさせたい。</p>				
学習過程	問題発見	計画, 情報収集・精査・選択	解決の実行	振り返り	
思考の手立て	〈分解〉	〈分類〉	〈比較〉	〈結合〉	〈転換〉 〈置換〉 〈推論〉

1. 本時の目標

持続可能な社会の構築に向けて、先人の知恵から学び、今の生活に生かすことができる。

2. 本時の位置づけ

本時は、次期『学習指導要領』「C 消費・環境」にあたり、「B 衣食住の生活」とも関連付けながら内容を構成した。

〈第1次〉 4時間扱い

本時を行う前に、環境省から受託された「学校における省エネ教育プログラムの開発・実証」を実施した。

ここでは、今の自分の生活を振り返り、環境と日常生活とのかかわりに気付かせ、問題発見を行った。また、週1回、メーターを記録し、省エネ効果を数値で可視化し、節電実験をするなど学んだことを踏まえ、家庭で省エネに取り組み、解決の実行をする場面を設け、実生活と結びつけた活動を行ってきた。

〈第2次〉 2時間扱い

第1次を受けて、本題材を計画した。

第1時 先人の知恵から学ぼう

— 環境に配慮した生活の工夫

第2時 私たちが地球を守る

(本時) — これからの社会に必要な
ライフスタイルを考えよう

1年生の1学期に本題材を扱うことで、これから実施する家庭分野の学習と「環境」とを関連付けて学ぶ意識付けになると考える。

3. 本時の主張

(1) 育成したい生徒の姿

自分の生活経験や学習したことを結び付けて考え、持続可能な社会の担い手として何ができるか、自ら気づき、考える姿。

(2) 本題材における「深い学び」

「主体的な学び」に向けて、授業の導入時に見通しをもたせ、学習のゴールを明確にし、振り返りにおいて自らの学びを価値付け、他者と共有する場面を設定した。既習事項や他教科、他の班から学んだことを関連付け、一般化することで、自己変容を促していく。

「対話的な学び」については、中教審の議論の中で、「子供同士の協働、(一部省略)先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める」と示されている。

第1時では、先人の知恵を書籍から情報収集・精査・選択し、学び取るといった時間的な広がり意識した学びとなるようにした。本時においては、前時の学習をもとに生徒同士で話し合い、協働して考えを生み出す活動場面や発表(国語科と連携)の場を設定した。

「深い学び」に向けて、家庭科の見方・考え方「持続可能な社会の構築」「生活文化の継承・創造」を働かせるとともに、思考の手立て：比較、推論を用いることで、持続可能な社会の担い手として、自ら気づき、考える生徒の育成を目指したい。

4. 本時の展開

主な学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点	学習過程・思考の手立て
<p>〈1. 導入〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構築に向けて、これまで学んできたことを確認する。 私たちの今の生活は環境に配慮した生活といえるか考える。 本時の問いを確認する。 <p>(8分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの振り返りをし、学んできたことを結び付けて考えるように働きかける。 改めて、今の自分の生活を振り返らせ、る。 授業の見通しをもたせるとともに、授業のゴールを確認する。 	<p>問題発見</p>
<p>〈2. 展開①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「衣」「食」「住」「消費」の担当者がそれぞれ1人(2人)ずつ集まり4人(5人)班を作り前時に話し合ったことを発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 先人の知恵の紹介 班で考えたこと <p>(12分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先人の知恵から今に生かせることは何か、など互いに気付きを得るために発表を行うということを確認する。 国語の授業で学んだことを踏まえて発表するように伝える。 メモをとりながら発表を聞くことを伝え、思考を整理させる。 	<p>計画、情報収集・精査・選択</p>
<p>〈2. 展開②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の問い「これからの社会に必要なライフスタイルを考えよう」について、個人で考える。 班で話し合い、意見をまとめる。 <p>(15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先人の知恵をそのまま取り入れるのではなく、「衣」「食」「住」「消費」に共通する先人の考え方は何か考え、かつ今の時代の状況に合ったライフスタイルを考えさせる。 既習事項や他教科、他の班から学んだことを関連付けながら、個人だけでなく、家族、地域、日本、世界にも目を向けて考えさせる。 なぜ、そのライフスタイルが必要なのか、学んだことを踏まえて根拠を示すように伝える。 	<p>〈比較〉</p>
<p>〈3. まとめ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 班で話し合ったことを発表する。 出された意見が実行可能か考える。 振り返りを記入する。《個人》 <p>(15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 班での発表を通して、考えを共有させる。 班で考えたことや既習事項を踏まえて、本時の問いに対する自分なりの答えをワークシートにまとめさせる。 出てきた意見は実行可能か考えさせ、学んだことを行動につなげていけるように促す。 	<p>振り返り 〈推論〉</p>